三、國庫助成金增額運動に於ける吾黨の態度

吾八幡市は製鐵所より、現在參拾萬圓の助成金を受けて居るのであるが、それでも猶ほ、財政極度に窮迫を告げ、年々人口の增加に伴ひ增額を要求されて已まない教育費、土木費其他勞働都市としての面目を維持する上に必要なる幾多の社會政策と諸施設の財源、等々一として支出し得ぬ哀むべき狀態に在る。

由來、吾八幡市は製鐵所の爲めに存し、その人口の大部分は製鐵所從業員及其の家族、若しくは製鐵所と何等かの關係を有つものである。從つて製鐵所と八幡市との關係は、甚だ密接なるものであつて、製鐵所の發展による從業員の增加及びその待遇改善は、是れやがて八幡市の發展であり、また八幡市の發展及び都市としての完備は、是やがて製鐵所從業員若しくはその關係者の福利增進であり、從つて製鐵所そのものの利益である。また社會道德上より言ふも、自己が雇傭する從業員がよく都市生活を享受し得るやう八幡市財政の情態に常に注視し、而して若し其の困難を訴ふるが如きこと有る場合は、進んで是れに對し財政的援助を與ふべきことは、蓋し製鐵所としての當然過ぎる當然の責務でなければならぬ。

南滿洲鐵道株式會社の如きは、關東州以北鐵道沿線の全在留邦人のために、或は學校を經營し、或は土木工事を興して、以て自己經營の事業が吸引する人口に對して相當の貢獻を爲しつゝある。

佐世保海軍工廠の如き、非營利的官營事業に於てさへ、上水の供給其他に依る佐世保市への財政的援助を爲すに吝かでない。

若し、製鐵所にして官營工場でなく、民間企業會社でありとすれば、吾八幡市は是れに對し相當多額の課稅を爲し得る筈であり。從つて市の財源も今日の如く涸渴すること無き道理であるも、如何せん、相手方は市の課稅權外に孤立する政府事業なるを。

されば、吾黨は、八幡勤勞無產市民の生活利害と緊密なる關係を有する助成金の增額を主張する。製鐵所は、名は官營工場なるも、既に獨立會計を認められたる實質上の營利事業にして、而も昭和三年度の純益一千萬圓、昭和四年度純益見積り八百五拾萬圓なるを見る時、吾黨は屢一層增額の主張の當然にして且つ政府にして其の誠意さへあらば、是れが實現の甚だ容易なるを痛感するものである。況んや、製鐵所は、晝夜の別ちなく、彼の幾百千本の煙突より吐く天日

を蔽ふ黑々たる黑煙、煤塵を以て、市民の健康を害し、その都市的美觀を毀損して八幡市に對し計り知らざる損害と迷惑とを與へてゐるに於てをや。

今や助成金增額は、吾八幡市財政にとり、今日及び明日に亘りて解決の急を告ぐる焦眉の問題である。

されば吾黨は亀井代議士をして、第五十六議會開會前と開會中との二回に涉りて、製鐵所長官中井勵作氏に、八幡市民及吾黨八幡支部の懇請要望を爲さしめ、是れに對し、『此の助成金を參拾萬圓より六十萬圓に增額して呉れとの八幡市及び貴黨八幡支部の御要求は、洵に尤ものことであるから、自分としても出來るだけ骨を折つて見る積りである』との中井長官の誠意ある回答を得て、助成金增額運動の先驅を爲したのである。

吾黨に依つて先鞭をつけられたる該運動は、其後各政黨の見倣らう處となり、改選直前の市會の協議會に於ても、助成金增額に向つて一路邁進すべきことを決議し、更らに市議選擧に當りては、「助成金增額」は各政派第一の選擧スローガンと爲り、漸く實際問題化するに到つた。

昭和四年九月三日、吾八幡支部は、是問題に關する緊急執行委員會を召集して、『黨本部と連絡をとり、有効なる戰術と最深の熱意を以て目的の達成に努力すること。但し、如斯全市民的問題に就いては、徒らなる他黨との競走を避け出來得る限り相提携して進むことを以て市民に對する忠實な遣り方としなければならぬ。助成金增額運動の動機と增額金の使途に就いては、吾黨は既成各政派と兩極點に起つものであるが、其の論議鬪爭は增額獲得後に讓りて今は措いて問はず、當面の增額實現に向つて一路直往すること』を滿場一致決議し、是の決議に基きて、同月七日、助成金增額運動委員四名を選任して、中井製鐵所長官代理佐々木總務部長に面談交涉せしめ、『八幡市の財政窮乏に關しては誠に同情に堪へぬ。製鐵所當局も誠意を以て御骨折りしたいと考へて居る。然し、茲に難關として横たはるのは現內閣の緊縮政策である』の理會ある回答を得たのである。

曩きには亀井代議士に對する中井長官の誠意に充ちた答辯、今また佐々木總務部長の理會ある回答を得、今や該問題は一に懸つて緊縮政府を動かすに在る。殆ど全部の新規事業を打切り、生產的公債を起すことさへ斷然之れを斥けて、吾國資本主義の再建に馬車馬的勇敢さを以て狂奔する緊縮內閣を動かすことは、然しながら、極めて困難なことである筈が、是の運動の前途に、いかなる困難が横たはらう共、斷じて中道にして止む可きに非ず、問題は八幡十四万市民の死活を決定すべき分水嶺に起つて居るのだ、八幡市民の燃ゆるが如き熱望と此の熱望の尖端に立つ市理事者及各政黨の